

認知行動療法のポイント

クライアントの不応問題の発生や維持には、個人の予測や判断、信念や価値観といった考え方(認知)の問題が関連していることが少なくないです。認知行動療法とは、そのクライアントの不応状態に関連する行動的、情緒的、認知的な問題を治療標的として、それらを適応的な認知へと変容していくことによって、情緒の安定や行動の修正を効果的に行っていくことを目的としています。さらに、クライアント自身が考え方が変わることによって、気分や行動は変わるということを繰り返し経験することを通して、情緒や行動のセルフコントロールの獲得ができる治療法ともいえます。その認知行動療法を用いる際のポイントを鈴木伸一氏(早稲田大学)をお招きしてお話していただきます。皆様のご参加をお待ちしております。

- 日時** 2010年12月9日 | 木 | 19:00~21:00
- 場所** 調布市社会福祉協議会 会議室 (調布市小島町2-47-1 総合福祉センター内)
- 講師** 鈴木伸一氏 (早稲田大学人間科学学術院教授)
- 参加申込** 下記参加申込書にてFAXでお申込み下さい。 **参加定員** 50名(先着順) **参加申込** 無料

【講師プロフィール】

鈴木伸一氏

- 1992年3月 早稲田大学人間科学部 卒業
- 1995年7月 東京女子医科大学日本心臓血管研究所 心理士
- 1996年4月 足立医療生活協同組合綾瀬駅前診療所心療内科 心理士
- 2000年3月 早稲田大学大学院人間科学研究科博士後期課程 修了
博士(人間科学)取得
- 2000年4月 岡山県立大学保健福祉学部 講師
- 2003年4月 広島大学大学院心理臨床教育研究センター 助教授
- 2007年4月 早稲田大学人間科学学術院 准教授
- 2010年4月 同 教授

その他兼職

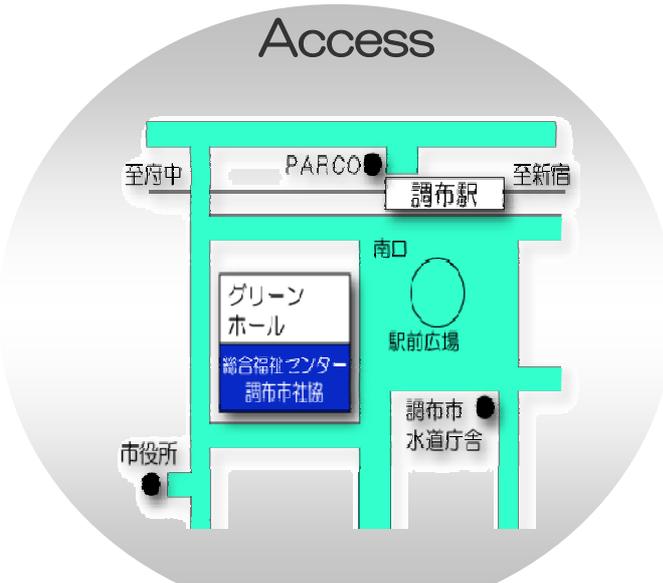
- 2007年10月 医療法人和楽会赤坂クリニック 心理士
- 2009年5月 国立精神・神経センター精神保健研究所 客員研究員

所属学会等:

日本行動療法学会常任理事(広報委員長, 副編集委員長), 日本行動療法士会事務局長, 日本認知療法学会幹事, 日本行動医学会教育研修委員長, 日本ストレス学会評議委員, 日本循環器心身医学会理事

主な著書・訳書:

実践者のための認知行動療法テクニックガイド(北大路書房)、医療心理学の新展開(北大路書房)、慢性うつ病の精神療法:CBASPの理論と技法(医学書院)、学校・職場・地域におけるストレスマネジメント実践マニュアル(北大路書房)、ストレス対処の心理・生理的反応に及ぼす影響に関する研究(風間書房)



問い合わせ先
 社会福祉法人 巣立ち会【担当:星山】
 東京都調布市菊野台1-17-5
 TEL | FAX 042-488-4433

参加申込書

FAX 番号: 042-488-4433 (社会福祉法人 巣立ち会 こひつじ舎)

お名前	ご所属	電話番号

※ 申込受付の電話連絡は致しませんので、送信先等お間違えのない様ご注意ください。